

議員提出議案

(○:賛成 ×:反対)

議案番号	議 案 名 ( ) は付託委員会名	審議結果	新 政 の 会	次 世 代 か す か べ	公 明 党	日 本 共 産 党	立 憲 民 主 党	日 本 維 新 の 会	無 所 属
議第 19 号議案	脳脊髄液漏出症患者の救済を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 20 号議案	重点支援地方交付金の拡充と地方自治体への迅速かつ丁寧な支援を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 21 号議案	危機的状況にある自治体病院の存続に向けた財政支援を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 22 号議案	地方の福祉人材確保の取組に向けた財政措置を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議第 23 号議案	衆議院議員定数を削減しないことを求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	○	×	○ <sup>2</sup> × <sup>2</sup>
議第 24 号議案	防衛費のGDP 2%達成前倒しを中止し、防衛費削減を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	○	○	×	×	○ <sup>2</sup> × <sup>2</sup>
議第 25 号議案	非核三原則堅持を求める意見書 (付託省略)	原案可決	○	○	○	○	○	×	○ <sup>3</sup> × <sup>1</sup>
議第 26 号議案	OTC類似薬の保険適用継続を求める意見書 (付託省略)	否 決	×	×	×	○	○	×	○ <sup>2</sup> × <sup>2</sup>

傍聴して一言

資料枚数の簡素化、発言通告一覧表の裏に座席表を印刷するなどして経費節減できないだろうか。

春日部が持つ特性を生かして、さらに推進していくことが楽しみ。身体の不自由な地元の方も参加しやすい移動方法も確保してほしい。

女性・68歳

議場、議会を見学してみたかったので満足しています。シェアサイクルを実施していることなど知らなかったのが参考になりました。

男性・74歳

今回、初めて傍聴しましたが、議員の数に対して、傍聴者の数は2人のみでした。もっと市民の方の参加を望みます。もっと市民として興味関心を持つことが大事です。市議会が何をやっているかが理解できました。そして、議案の実行力を願います。

男性・77歳

※割愛させていただいた部分もあります。

ぜひ、傍聴にお越しください。

本会議の傍聴を希望される方は、市役所本庁舎5階の傍聴者受付で、住所および氏名をご記入の上、傍聴券を受け取り、傍聴席に入場してください。  
傍聴席は60席（うち車椅子席4席）で車椅子のままでも傍聴できます。  
また、小さなお子様連れの方でも気兼ねなく傍聴していただくために、ガラスの壁で囲われた親子傍聴席も設置しています。

合計	18	16	15	11	9	8	4	12 / 2	11 / 26	月日	傍聴者数	今定例会傍聴状況
133	3	41	18	21	28	15	3	2	2			
	討論・採決	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	委員会	質疑	上程・説明	主な日程		

「春日部市議会ハラスメント防止宣言」を公表しました

春日部市議会  
ハラスメント防止宣言

1 春日部市議会は、ハラスメント行為を許しません。

2 春日部市議会は、ハラスメント問題の予防やその対策のため、定期的な研修等を行い、知識や適正な対応方法の向上に努めていきます。

ハラスメントは、関わる人々の人権や尊厳を傷つけ、個人の能力の発揮を妨げ、組織の秩序や業務遂行を阻害し、社会的な信頼性にも重大な影響を与える行為です。  
春日部市議会は、ハラスメントの行為をしない、許さない環境づくりに取り組んでまいります。

令和7年12月1日  
春日部市議会

# 一般質問

## 市民の声を市政に

※ 各議員の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ることで、一般質問の録画映像をご覧ください。

※ 小久保博史議長は職責上（議事整理権）、監査委員の栗原信司議員は申し合わせにより一般質問は行っていません。

（文責は、各質問者）

## 一般質問に26人が登壇

### 成年後見制度について



鈴木 一利  
議員



本市における高齢化率は埼玉県平均よりも高くなっています。その事実と比例するかのように、認知症で悩まれている市民も多いのではないのでしょうか。そんな皆さまの手助けのひとつが成年後見制度です。

そこで、成年後見制度の受け皿ともいえる成年後見センターおよび中核機関の設置に向けた現在の状況について伺います。

また、本市での成年後見センターおよび中核機関を早急に設置するべきだと考えますが、市長の見解を伺います。

#### ○福祉部長

現状としては、今年度の6月から福祉総務課の職員1名の勤務場所を社会福祉協議会に移し、社会福祉協議会の事業である福祉サービス利用援助事業の把握に努めています。また、成年後見センター事業を行っている他自治体の視察

を行い、事業の内容を確認するなど、成年後見センターおよび中核機関の設置に向けて準備をしています。

#### ○市長

制度の相談窓口である成年後見センターおよび中核機関の設置については、喫緊の課題だと認識しています。そのため、成年後見センターは、令和8年度中に設置をしたいと考えています。

#### このほか

○ごみ収集と収集しマースの今後について  
○行政手続きのオンライン化について

### 災害対策について



山崎 進  
議員



地震や台風、大雨など、いつ発生するか分からない災害が相次いでいます。本市では大規模災害に備え、災害時応援協定を締結していますが、具体的にどのような団体と、どのような内容の協定を結んでいるのか伺います。

また、持病のある方などに

配慮した医薬品に関する協定の現状について、その概要とあわせて、災害時における医薬品の供給体制について伺います。

#### ○市長公室長

国、県、他市町村、民間企業などと、物資に関する協定、業務に関する協定、物資と業務の両方を提供することに関する協定を締結しています。

#### ○健康保険部長

薬剤師会とは、傷病者等に対する調剤及び服薬指導等の医療救護活動を行うための薬剤師の派遣等に関する協定、医薬品卸業者とは災害時に必要となる医薬品等の調達に関する協定を締結しています。

災害時の医薬品は、持病のある方については、ご自身が処方された薬を持参してもらうことが最も安全であると考えていますが、本市でも医師会および薬剤師会の助言の下、種類や量を決定し、備蓄管理を行っています。なお、市の備蓄医薬品を活用しても不足が生じた場合は卸業者へ調達を要請し、それでも不足が生じる場合には県に対して要請する体制を整備しています。

#### このほか

○市政について

## 学校プールについて



奥沢 裕介  
議員

複数の学校の水泳授業で運用していく、八木崎小学校に建設を予定している学校温水プール整備の現在の進捗状況、整備事業費、財源、および竣工時期について伺います。

また、施設の概要について伺います。

### ○学校教育部長

学校温水プール整備の進捗は、建設予定地である八木崎小学校の既存プールの解体工事がすでに完了しています。

現在は、整備に向けた発注準備を進めており、本市議会定例会で、整備工事関係の費用を、3か年の継続費として事業費を約18億円計上したところ です。

また、財源は、市の財政負担を可能な限り軽減するため、現段階では公共施設の集約化を行う際に活用できる公共施設等適正管理推進事業債など、財政面に有利な起債を活用したいと考えています。

なお、竣工時期は、令和9年度の秋ごろを予定しています。

施設の概要は、施設内部は、プール槽は25メートルの6レーンとし、1レーン当たりの幅は1・8メートルとなる予定です。

水深は、0・9メートルから一番深いところで1・1メートルとし、プールの大きさや水深は児童用のプールとして、現行の屋外用プールと同規模となっています。

このほか

○幸松地区の排水施設の課題と対策について



春日部市学校温水プール整備イメージ図（南東側より）

## 東 埼 玉 消 防 の 広域連携・協力について



水沼日出夫  
議員

近年の激甚化、大規模化する災害に対応するために取り組んできた応援体制強化策と広域連携・協力について、以下2点お伺いします。

①東埼玉消防指令センターの目的や内容について。

②消防体制の広域化についての本市の考え。

### ○消防長

①令和8年度から運用が始まる東埼玉消防指令センターの消防指令業務共同運用については、119番通報の受付と同時に災害発生時の情報の一元化による応援出動が可能となり、相互応援体制の迅速化が図れ、より効果的な出動指令などが確立できるものと捉えています。引き続き、将来を見据えた持続可能な消防体制を構築し、住民の安心安全の向上に努めていきます。

②現在、国ならびに県においては、市町村の消防広域化や消防本部間の連携・協力を積

極的に推進しています。

また、県は、埼玉県消防広域化推進計画の改定作業を進めていましたが、本年1月に発生した八潮市の道路陥没事故を踏まえて、改めて検討を行った上で、新たな計画を策定する方針を示しています。

これらを踏まえ、本市消防本部としては、地域住民の安心安全の確保を最優先に、広域化・連携の利点と課題を総合的に勘案しつつ、最適な体制の構築に向け、国および県の動向ならびに近隣消防本部の取り組み状況を引き続き注視していきます。

## 若者と女性の 健康支援について



藤原 智子  
議員

プレコンセプションケア（PCC）は直訳すると「妊娠前のヘルスケア」ですが、当初は「妊活の一部」と捉えられがちでした。しかし、その本質は妊娠を望む・望まないに関わらず、全ての若い世代が、自身のライフプランと健康に前向きに向き合うため

の、生涯を通じたヘルスケアです。

この広い意味でのPCCの理解を市民にどう浸透させるかが、今後の大きな課題であると認識しています。

この課題に対し、積極的な周知と普及啓発にどのように取り組んでいくのか、具体的な方針を伺います。

### ○こども未来部長

まずはプレコンセプションケアへの理解が図られるような市公式ホームページの作成をしていきます。

ホームページについては、プレコンセプションケアという見出しで特別に作りたいと考えており、国の動向や先行自治体の事例などを参考にしながら、プレコンノートやプレコンチェックシートの活用についてお知らせをしていきます。

また、今後の情報発信の強化として、伝達手段の工夫を図りながら「広報かすかべ」や窓口で周知するとともに、思春期や成人期の若い世代に広く届くよう、SNSなどの活用にも努めていきます。

このほか

○子宮頸がん及びHPV関連がんの撲滅に向けて

**生徒を信頼し、  
自主性を育む教育を。  
校則の在り方を見直そう**



古沢 耕作  
議員



昨今、不登校やいじめなどの問題が深刻化する中で、学校という場所が多感な年ごろの中学生たちにとって、少しでも居心地のいい「居場所」であってほしい、という思いから「校則」を取り上げて、以下伺います。

①義務教育学校を含む市内12校の中学の校則を見ると「整髪料は使用しない」、「マフラーは長過ぎないものを」など、少し細かく、今の時代に合っていないと感じる決まりが多々あります。文科省のガイドラインにも、その時代や環境に合わせて校則は変えていくべきとありますが、教育委員会の認識を伺います。

②戸田市の戸田中学校では、「校則検討委員会」をつくり、生徒と先生が一緒になって校則の見直しを行うことを始めていると感じ、自主性を育てるという点で、意義ある取り組みと

みと考えます。本市でのそのような動きはありますか。

**○学務指導担当部長**

①社会の変化などを踏まえた校則の見直しは必要であると考えています。制服の変更や校則の見直しなどについては、校長研究協議会などで学校へ指示しているところです。

②校則の見直しに取り組んできた学校では、生徒から意見募集を行い、生徒総会で話し合うなど、生徒が参画して校則を見直す取り組みを進めているところではあります。

このほか

○2期目に臨む市長に問う

**介護分野における  
有償ボランティアの  
活用について**



荒木 洋美  
議員



介護事業所と地域住民をつなぐ「スケッター」という有償ボランティア制度があります。この制度は、「ちよつとだけお手伝いをしてほしい」介護事業所と「空き時間に誰かの役に立ちたい」地域住民有償ボランティアをつなぐサービスです。スケッターによ

り業務負担が軽減し、利用者の介助やケアに一層集中できるようにになった、という声を聞いています。

地域住民の力を借りて、介護事業所の業務負担を軽減するスケッターという制度の導入について伺います。

**○健康保険部長**

介護現場の人手不足の解消のため、いわゆるスポットワークを活用することは本市としても注目しており、市内事業所を対象にセミナーも開催したところです。しかしながら、スポットワークは、常勤スタッフの負担が増える恐れがあることなど、さまざまな理由から、事業所から前向きな反応が得られていないところではあります。

スケッター制度も介護現場の人手不足を補う有効な取り組みの一つとなり得る一方で、スポットワークと同様の課題が予想されます。従って、まずは事業所の意見を丁寧に向いながら、課題などを整理し、理解を広げていくことが大切であると考えています。

このほか

○児童虐待防止対策について  
○医療的ケア児の教育現場での対策について

**いまだに実現できない  
ドッグランの設置について**



永田 飛鳳  
議員



「昨年、ハルカイトに試験的に設置されたドッグランは、あくまでも、ハルカイトのPRが目的だった。」と、多くの飼主さんに誤解を招く答弁、本当に残念です。

市長は「既存公園などを中心とした中で適地の選出およびドッグラン設置を検討してまいりたい」と以前答弁していました。

しかし、設置が可能な大きな敷地の公園は、ほとんどが指定管理者へ委託です。

結局、指定管理者次第で、市長は、本気で取り組むつもりはない、というのが感想です。

そこで市長に伺います。

市長はドッグランの設置について、本気で検討し、実現させるつもりはあるのか伺います。

**○市長**

飼い主の方が愛犬と触れ合い、飼い主の方同士が親交を

深められる環境が整っているということは望ましいことだと考えています。

その一方、ドッグランの設置には、近隣住民の方のご理解がなければ、市としては設置することがなかなか難しいものだとして認識しているところではあります。

今後につきましても、ドッグランに対するニーズ、用地の確保などについて精査を行い、検討を継続していきたいと考えています。

このほか

○ペット同行避難について  
○動物介在教育について



中型・大型犬も利用できるドッグランを